

8年間の成果と課題

2014~2022



コロナ 主な対策

① 感染拡大防止

- ワクチン接種の推進 3回目接種率:**64.0%**
(R4.5.26現在)

② 医療提供体制

- コントロールセンターによる病床等一元管理
- 要介護高齢者等専門の宿泊療養施設設置

③ 社会経済文化活動

- 資金繰り支援 融資額:**3,369億円**(R4.3末)
- 生活者支援 貸付総額:**233億円**(R4.3末)
- 「びわ湖ホール」 **第68回菊池寛賞**

ひとの健康

- ① 乳幼児医療費・多子世帯保育料の無料化
- ② 全県立学校のエアコン整備 など

		2012年		2019年
平均寿命	男性	81.40	↑	82.38
	女性	86.53	↑	87.81
合計特殊出生率		1.53人	↓	1.47人

社会・経済の健康

- ① 「びワイチ」第1次ナショナルサイクルルート指定
- ② アンテナショップ「ここ滋賀」東京に開設 など

	2012年		2021年
交通事故死傷者数	10,498件	↓	3,567件
刑法犯認知件数	15,139件	↓	5,814件
観光消費額	1,510億円	↓	1,170億円
2018年(コロナ禍前) 1,972億円			

自然の健康

- ① 「CO2ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例」制定
- ② MLGs(マザーレイクゴールズ)策定 など

	2013年度		2019年度
温室効果ガス削減率	基準	↑	▲22.2%
目標:2030年度	▲50%		

三期目の新たなチャレンジ

おかげさまで滋賀県知事として8年。皆がそれぞれに日々活動してまいりました。重責に押しつぶされそうなる時もありましたが、今更にはきつくて務めを担うことができたのは皆さまの理解とご支援の賜物です。深く感謝いたします。

△二年目に入ったコロナ禍、△コロナによるオンライン侵犯、△長寿化と少子化、人口減少、△気候変動ともいえる地球温暖化、...等

先任が見過ごせなかった不安はありますが、琵琶湖をまんげにやまに囲まれた豊かな自然、おみやげの歴史と文化、産業があり、お互い思いやり支え合おうとがんばります。同時に未来への光と希望の力を活かし、滋賀らしく、元気なびわ湖を、健康しががもつくるため、これからも元気に活動してまいります。皆さま、一緒にがんばりましょう!!

三日月大造



- 大津市立日吉台小、日吉中学校、膳所高等学校卒業
 - 一橋大学経済学部卒業後、1994年にJR西日本入社
 - 2002年 松下政経塾入塾
 - 衆議院議員4期連続当選、滋賀の声を届け続ける国土交通大臣政務官、国土交通副大臣等を歴任
 - 2014年 滋賀県知事に就任
 - 2018年 滋賀県知事(2期目)
- 未来へと幸せが続く「健康しが」づくりに挑戦中

facebook 三日月大造

www.genki1.com

頒布責任者/大脇正美:草津市若草2-4-14
印刷責任者/(株)ヤマブラ:近江八幡市桜宮町294 YP1

証紙添付欄



三日月大造

51才

健康しが
元気なびわ湖
を
つくりたい

滋賀県知事候補者 みかづき たいぞう

三期目の新たなチャレンジ

つなげ、みんなでつくり！健康しが



くわしい
政策集は
HPへ！

www.genkii.com

ひとの健康

文化・芸術やスポーツを通じた元気づくり

- 文化財の保全と活用、「近江の城1300」魅力発信
 - 新文化館の検討、彦根城世界遺産、幻の安土城 など
- 文化・芸術を育む環境づくり
 - びわ湖ホール大改修、新しい美術館検討着手 など
- 令和7年(2025年)の国スポ・障スポ大会へ
- スポーツを楽しむ環境づくり ほか
 - 新マラソン・全国中学校駅伝の実施、eスポーツ など



“魅力ある公園”づくり

健康づくりの推進、メンタルヘルスケアの充実

ひととすべての生き物、自然とのつながりづくり

- ひとと動物の豊かな関わり、生物多様性の保全 ほか ワンヘルス

先を見据えた感染症対策

滋賀の医療提供体制づくり

- 持続可能で期待に応えられる県立病院へ ほか



自然の健康

CO₂ネットゼロ

- ゲームチェンジ(ライフスタイル・地域づくり転換)
- 脱炭素先行地域でのチャレンジ
- 再エネの更なる普及、イノベーションの創出 ほか

やまの健康2.0

- 林業成長産業化、森林整備、農山村活性化
- “植樹祭のレガシー”づくり ほか

琵琶湖の保全再生

- MLGs・「びわ活」の推進、外来動植物対策
- 「琵琶湖システム」世界農業遺産 ほか

ひとづくり

子ども・子ども・子ども

- 生まれる前からの切れ目のない子育て支援
 - 医療費無料化の拡充検討 など
- 困難を抱える子どもへの支援
 - 4か所目の子ども家庭相談センター新設 など
- ICT活用による「生きる力」、「確かな学力」の向上 ほか



滋賀の産業

- 高専づくりの準備促進
- 企業(起業)人材、農林水畜産業の担い手 ほか

滋賀の社会

- 防災人材、地域づくり人材
- スキルアップ・学び直し ほか



滋賀の医療福祉

- 医療福祉人材 ほか
 - 医師・看護・介護・保育・子どものこころ専門医 など

「健康しが」の基盤づくり

より良き自治の追求

- 図書館の機能とネットワークの充実 ほか
 - 「(仮称)こどもとしょかん」の設置検討 など

県政150周年から一歩

DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

行財政基盤の強化

地域循環型社会の構築

- エネルギー作物(菜の花等)利用促進、
サーキュラーエコノミー ほか



社会・経済の健康

地域公共交通の充実

- 「(仮称)滋賀地域交通ビジョン」づくり
- 滋賀の交通ネットワークの維持強化
 - 近江鉄道線活性化と経営改革 など
- 移動を支えあい交通をより良くするための税制(交通税)の検討推進 ほか



社会資本の着実整備

- みち(道路網の充実強化)、みず(河川整備等)、まちづくり、グリーンインフラの推進
- 物流機能の強化 ほか

コロナ禍からの経済回復の支援

- 中小企業・地場産業・スタートアップの支援
- 環境こだわり農業の進化、「儲かる漁業」づくり、近江牛等の振興、「動物の福祉」挑戦開始
- 新しい旅「シガリズム」の発信 ほか

滋賀の活かづくり

- 大阪・関西万博への参画
- 人口減少地域の創生支援、関係人口の創出
- フィルムコミッション機能の充実
- 女性活躍・ダイバーシティの推進 ほか

次世代の滋賀の産業づくり

- 世界の潮流(ゲームチェンジ)を踏まえた産業創造(誘致) ほか

ビワイチの推進 条例に基づく

安全・安心の社会づくり

- 多文化共生社会の滋賀づくり(県内でも国際交流)
- 障害者差別のない共生社会づくり
- 防災力強化、交通事故・犯罪防止対策強化 ほか

